

2024 年度 第 5 回理事会 議事録 2024.11.14

日時：2024 年 11 月 14 日（木）19：00～21：25

開催方式：オンライン開催

場所：各自自宅または職場

出席理事：神保武則（会長）、田中ゆかり（副会長）、吉本雅一（副会長）、玖島弘規（事務局長）、
望月強併、遠藤陵晃、青木啓一郎、佐々木秀一、神田崇央、神保洋平、佐藤隼、佐藤範明、
野本義則、澤口勇（14 名）

欠席理事：金山桂、山勢健太郎、奥原孝幸（3 名）

出席監事：錠内広之（1 名）

欠席監事：野々垣睦美（1 名）

その他出席者：池田選挙管理委員長、兵頭夏海（事務局部員）、薄井文香（事務局部員）（3 名）

I. 会長より挨拶

来年度の組織改編に向けたヒアリングを始めており、予算の検討が始まってきたと思います。12 月の対面での理事会に向けて話を進めていけたらと思います。今回も大切な話がありますのでよろしくお願いします。11 月になり風邪が流行ってきているため皆さん体調には十分に気をつけて過ごしていきましょう。

II. トピックス（選挙管理委員会）

1. 役員選挙について（池田選挙管理委員長）

役員立候補の案内と立候補届けはホームページに掲載されている。開票作業に関しては事務局と役割分担しながら行う。

III. 審議事項

1. 後援依頼について（事務局）

- ・第 37 回日本ハンドセラピィ学会学術集会の後援について
来年度は横浜のパシフィコで開催予定。
➡賛成多数で承認
- ・第 41 回神奈川県理学療法士学会
➡賛成多数で承認
- ・小田原 R フェス 2025（2025／3／23 開催） 神奈川県西地区リハ協議会
➡賛成多数で承認
- ・日本医療マネジメント学会第 24 回神奈川県支部学術集会（2025／3／8 開催）
➡賛成多数で承認

2. 介護認定審査会委員の推薦について（事務局）

- ・相模原市：渡邊誠氏／河村晃依氏
➡賛成多数で承認
- ・厚木市：一木愛子氏／高橋大樹氏
➡賛成多数で承認
- ・川崎市：並木幹子氏／太田裕也氏／小泉善久氏

➡賛成多数で承認

3. 部員申請について（学樹部・教育部・ウェブサイト管理委員会）

・別紙参照

➡賛成多数で承認

永年会員制度について

今年度より永年会員制度が開始となっている。申請があった場合は理事会で審議することになっている。

➡賛成多数で承認

4. 第7回神奈川県臨床作業療法大会 大会長について

・小砂哲太郎氏（久里浜医療センター）

候補者を四役で検討し、第6回の木村大会長にも好意的に相談に乗って頂いた。今後、地域に作業療法士を展開していく上で精神科分野の方に行ってもらいたいという話になった。小砂先生に相談したところ快諾頂いた。

➡賛成多数で承認

IV. 確認・検討事項

1. 会議費について（財務部）

前回の理事会でも話があったが、会議費の支弁が源泉徴収票の対象となる。方針としては、定款を変更し報酬として位置付け支弁する(源泉徴収の対象)。2つ目は定款を変更せず今まで通りに行い、オンラインは通信費、対面は昼食などの実費支給とする。来年度においても今まで通りの方法で行っていく。

2. 会員特典(合同就職説明会)について（規約委員会）

合同就職説明会開催の検討について、公益法人協会に問い合わせた結果を報告。

開催は法的には問題なし。金銭の聴取も行って良いとのこと。

（澤口理事）

会員の特典としてとのことでしょうか。神奈川はエリアが広いのでどのエリアまで行うかなどを教えてください。

（神田理事）

会員特典として当会の特色になればと考えている。また学生会員の就職や既卒者の転職での参考になるのではないかと。会員の集まる機会が少ないのもあり、横の繋がりを作れる機会が作れればと思う。1つのきっかけづくり。就職説明会の運営に関しては今後検討が必要。

京都府でもPT・OT・ST 合同で行っていて、高校生などにもリハビリ職に興味を持ってもらえるような取り組みを行っているよう。

（野本理事）

就職説明会についてメリット、デメリットを考えていく必要がある。精神科や訪問などは募集数も少ないため病院によっては必要性を感じない病院もあるかもしれない。

（佐々木理事）

就職してもらえた病院は良いが、斡旋したことによって批判されてしまう場合もあると思う、対策は考えていく必要がある。

（神保理事）

就職の斡旋を強く行うことは問題であるが情報提供程度であれば良いのではないか。心配する部分は転職組にとっては、自分の就職先の病院が来ていた場合は配慮が必要。

(田中理事)

今後対策をブラッシュアップしていき対策を考えていければと思う。

(吉本理事) 出展施設が多くても参加者が少なかった場合を想定すると、仕組みをいくつか考えていく必要がある。

(奥原理事) 県士会のサイトに求人が全て掲載されているが、サイトと合同就職説明会との差なども検討していければ良いか。

(佐藤(隼)理事)

このような機会はありがたく思う。どこが進めていくかは検討していければと思う。

職場の事例報告をしながら職場説明などを行っていた病院もあった。

臨床的なところも結びつけても面白いかもしれない。

(野本理事)

神奈川県に作業療法士が生まれる母数が少ないため、そちらをしっかりと対策する必要もある。

→検討継続。

3. 臨時社員総会について (事務局)

2024 年 11 月 21 日 19:00 から開催予定。

オンライン参加 31 名、欠席 46 名。18 日に議決書、委任状を締め切りにしている。

議案書には 20:30 までとなっている。当日の議長と書記は選定中。

V. 報告事項 (各部署・理事・三役)

1. 財務部

(1) 中間監査報告

2024 年 10 月 26 日に実施。詳細については錠内監事より報告頂く。

監査の結果、活動の収支が概ね健全に遂行されている。

会議費をどの範囲まで使用するのか明確でないため、どこまで支給するか検討が必要。

上半期では 9 月まで。9 月 30 日までの決算書を作成し提出すること。

記入漏れが多いため提出前に確認をしてほしい。

会議費、交通費の申請をしていない部がいくつかあるため、上半期の内に申請をお願いしたい。

2. 学術部

(1) 研究助成事業

研究計画書変更について

乳がんの研究について研究の継続が難しくなったと報告あり。

3. 広報部

(1) 11 月 2 日の活動報告について

→次回報告

4. 制度対策部

(1) 大規模災害発生を想定したシミュレーション訓練について

参加者は 22 名。会員の安否確認は課題が残る (参加者が少ないのも要因としてある)。

(2) 神奈川 DWAT について

実際、どのような時にどのような人を配置したら良いか迷った。初期に検討していく難しさはあると思う。災害における作業療法士の働きを皆さんにも知ってもらえたらと思う。

再度、ファイル便で資料を送って共有させて頂く（主催者に共有して良いか確認を行う）。

2024 年 12 月 11 日かながわ災害福祉広域支援ネットワーク構成団体会員へ、DWAT 会員でなくても参加できる研修会があります。またメールで情報を共有します。

5. 学会評議委員会

(1) 第 6 回臨床作業療法大会について

来月開催に向けてプログラム作成や座長の選定も進んでいる。国際医療大学の先生よりオープンキャンパスも同時に開催しているため、学生にも興味を持ってもらえたらと思う。

(神保会長)

小田原市加藤市長と対面させて頂いた。作業療法士とは何かを伝えられた。当日は来て頂ける予定となっている。市長からの発信も行ってくださっており、市長とも連携をとっていけたらと思います。

(佐々木理事)

事前登録は何人ぐらい集まっているか。最後のアナウンスを行い参加者を増やしていければ。学生のボランティアは謝礼などあるか。

(青木理事)

登録人数は確認し共有する。学生ボランティアの謝礼は出すことになっている。

(望月理事)

・追加審議

東京から講師でお迎えしている方が荷物の運搬があるため車で来る予定となっている。高速代と距離数で代金をお支払いできたらと思う。合計 8000～9000 円を想定。謝金は規程に則り支弁する。

ICT 救助隊の交通費支給について審議

→賛成多数で承認。

6. 遠藤理事

(1) 横浜市政策経営局共創推進課からの依頼について

(2) 訪問リハビリ初任者研修会について

2024 年 10 月 13 日に対面で実施。参加者 20 名。対面だったため名刺交換なども進んでいた。

参加者の PT・OT の割合としては同じであり、OT の参加も多かった印象。アンケートを回収済み。若手が中心の研修ではあったが経験年数が高い方も参加していた。コメントとしては目標設定についての関心が高かった。

2025 年 2 月 2 日に訪問リハビリ実務者研修を実施予定。

『ヨコラボ 2024』を 2024 年 10 月 31 日から 4 日間開催していた。

横浜市の地域包括ケアシステム推進の課長様から西川班長に連絡があった。2024 年 11 月 3 日に e スポーツを開催するために OT がボランティアに参加できないかと依頼があった。ボランティアとして子供班、難病班、遠藤理事が参加した。横リハの学生、岩崎学園の情報処理科の学生も参加した。体験できるゲームがたくさんあり、大盛況であった。

7. 田中副会長

(1) 神奈川県企画課 ロボット開発における一般企業との打ち合わせ会について

ナビガイドアプリについて紹介があった。理事は5人が参加をして開発の話聞いた。今後の県士会でもコラボをしていき、OTとして患者さんや利用者さんが使用できるデバイスを提供、提案できればと思う。
興味がある方は、声を掛けて頂きたい。

8. 神保会長

- (1) 神奈川県病院医療関係団体連絡協議会について
2024年10月21日に実施。12団体の専門職の特色を述べる機会も頂いた。
懇親会の中でも有意義な時間ができた。作業療法を知って頂くことで、昨年よりもインパクトを持ち、じっくり話を聞いてくださった。作業療法の話をもっと聞きたいと言ってくださった。作業とは何か、人の営みを専門領域としてアセスメントをする能力があることをもっと伝えていきたい。年明けに県庁に伺い、お話をさせて頂く予定。

9. 吉本副会長

- (1) 第6回臨床作業療法大会 企画について
11名で運営予定。1人2時間ほど協力頂く予定となっている。

【その他報告部署・理事】

- (青木理事)
入会者、非入会者アンケートの結果を報告。99人から回答があった。入会時期は就職直後が多かった。入会して良かった点としては、研修会に参加できることや費用が安く参加できることも多く挙げた。
もっと充実してほしい点として研修会や勉強会の開催、情報提供の広報の改善、子育て向けの支援活動の充実、女性のキャリア開発支援についての声が挙がっていた。
入会を勧められない理由としては、年会費など金銭的な負担や、入会したことによるメリットを感じない意見も多かった。総括すると金銭的な負担の軽減、入会のメリットの明確化、研修会や勉強会の充実、手続きの簡便化、広報活動の強化が行ってけると良いかと思う。
(田中理事)
2024年11月21日が次年度事業計画、予算案の期日となっている。期日を守って頂き、次回の理事会でプレゼンをお願いしたい。

VI. 監事より

役員選挙や組織改編もありますので、スムーズに乗り切っていければと思います。皆さんでもう一期を乗り切っていき組織改編に向けて取り組んでいけたらと思います。
今年は12月の理事会が最後ですので皆さんで協力して良いものを作っていきましょう。

議事録署名人	議長：	神保 武則	印
	理事：	玖島 弘規	印
	理事：	澤口 勇	印
	監事：	錠内 広之	印